

行政事務組合

住民・利用者の安全確保を万全に！！

民報
おうしゅう
読者版発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

し尿処理施設

この事故は、胆江地区衛生センターし尿処理施設内で、水沢環境公社のし尿搬入車両が、同施設内の建屋内受入室に進出したところ、通行中にもかかわらず自動ドアが閉じて車両を挟み込み、車両右側の荷台外装部に擦り傷等損害を与えたものです。

し尿処理施設内で発生した
自動車損傷事故について原因を明らかにし
利用者の安全確保を

11月12日に開催された奥州金ヶ崎事務組合議会第2回定例会において、瀬川貞清議員と佐藤美雪議員が市民の利益と福祉向上の観点から、当局を質しました。

瀬川貞清議員は、事故の原因は何であったのか？住民が多数利用する燃えるゴミ焼却所も同じシステムなのか？住民に対する安全は確保されているのか？等について当局の見解をたずねました。

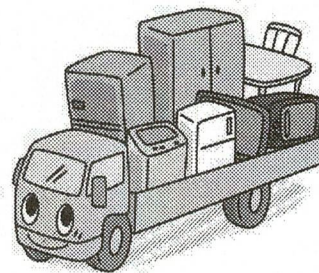
これに対し担当者は、「事故の原因は自動ドアの開閉に係る部品の経年劣化によるもの」「普通7年から10年で交換するもの」「部品の交換を定期的に行うことを徹底していく」「焼却施設も同様のシステムを採用している」「同様の部品の交換を行い再発防止に努めている」と答えました。

令和5年度一般会計

歳入歳出決算について

粗大ごみのリユース事業

もっと住民へ周知を



佐藤美雪議員は、奥州金ヶ崎事務組合に持ち込まれる粗大ごみ（家電やタンス、テーブルなど）で、まだ使用できるものを希望者に譲渡する事業について、「ごみを減らす取り組みとしてとても良い事業だが、住民にはまだまだ知られていない。ホームページ等でわかりやすく周知に努めるべきではないか」と当局を質しました。

担当者は、「ホームページの見やすさの検討や市町の広報等での周知に取り組みでいきたい」と述べました。

救急搬送の実態は？

次に佐藤美雪議員は、消防から出されている「救急車利用リーフレット」や「手術が必要なものでないと救急車を呼んではいけない」という話も聞く。しかし、緊急性に関する基準は住民にとっては判断できないものだ、と指摘。救急搬送における当局の考え方、対応について質しました。

救急搬送、

悩む場合は呼んでほしい

担当者は、「リーフレットには救急搬送についての判断材料が載っているが、住民のいのちを守るために出動している。悩む場合には救急車を呼んでほしい。基本的には病院に搬送していただく」と述べました。



前衆議院議員

高橋ちづ子

11月19日 フェイスブックより

今朝は、地元青森の松森仙後援会の宣伝。吉俣洋県議と。今朝は0度、雪が降り、師走並みの寒さ、とTVが伝えていました。懐を温める施策は何か？が問われていますね。103万円の壁、本来なら賃金をもっと上げ、無理なく働き社会保障料も払える、安心の社会保障にするべきです！宣伝中、激励も多く、車の窓をあけて手を振って

くれた！自民党の政治改革は裏金総額の2倍を被災地に寄付？おかしくないか。原資はほぼ国民の税金、政党助成金だよね？全容解明と企業団体献金の禁止こそ！

奨学金返済で約5割が食事に影響、約4割が医療に影響。各党が公約にかかげた高い教育費見直しそう！

